なんさい

2023
1
No.320

JA南彩

“地域”に寄り添い“未来”に繋ごう

新年のごあいさつ
特集1 自己改革進捗報告
特集2 第1回准組合員モニターミーティング開催

謹賀新年

JA南彩 | 検索 URL:https://www.ja-nansai.or.jp

ホームページで広報誌「なんさい」が見られます。

耕そう、大地と地域のみらい。 JAグループ

常務理事
井上　　薫
管理担当

常務理事
小林　　守
信用・共済担当

常務理事
松岡昌典
営農・経済担当

代表監事
髙﨑光英

常勤監事
木村光之

組合員や地域の皆さまから必要とされるＪＡをめざして

代表理事組合長　菊池義雄

謹んで、新春のお祝詞を申し上げます。

組合員並びに地域の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで輝ける新年の良き門出をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、ＪＡ事業に対し格別なるご理解とご協力を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年は、ウクライナ侵攻を始め、国際情勢の大きな変化により、農業生産に伴う資材価格が高騰し、また米を始めとする農産物価格の低迷が続いております。さらに降雹等気象災害による農産物への影響もあり農業現場においては、大変厳しい状況でありました。

このような農業資材価格の高騰対策として、国や各行政に対し農業者の経営安定と営農継続に向けた農業予算の確保に対する支援要請活動を行い、各行政には、支援対策を講じていただきました。また、当ＪＡとしても、独自による助成を設け今後支援させていただきます。

また、皆さまから開催要望のあったイベント活動においては、３年ぶりにふれあい感謝祭が開催され、組合員や地域の方々との交流を深めることができました。

ＪＡを巡る情勢は、著しく変化し、利用者ニーズの多様化、超低金利の長期化により、厳しい経営環境が想定されることから、経営基盤の強化に向け、現在、支店と営農経済センターの再編に取組んでおります。今年度末には、現在の15支店から９支店、営農経済センターは、４センターへ再編となります。今後は、店舗の大型化により、業務の専門性を高め、機能性と相談業務の充実を図ります。統合により店舗まで遠くなり、ご迷惑とご不便をおかけしますが皆さまをサポートするため、出向く体制の強化をめざしてまいりますので引続き、ご利用とご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今年度からの中期３か年計画に基づき、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」に向けて食と農を基軸とし地域に根ざした協同組合としての役割発揮する姿と経営の健全性をめざし、役職員一体となり取組んでまいります。

そして、私たちは「地域に寄り添い、未来に繋ごう」を合言葉としてＪＡの総合事業を通じ、組合員の営農とくらしの向上に努め、いつまでも『組合員や地域の皆さまから必要とされ、お役に立つＪＡ』をめざしてまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のご健勝とご多幸、そして本年がより良き年となりますよう、心からご祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

非常勤役員の紹介

理事

杉崎兼資　髙橋博　田中隆　橋本眞砂美　関根正一　関根耕太郎　石塚郁志　瀬尾富士夫　小川利雄　常見淳　吉岡広　石井政孝　榎本正孝　小島義男　荒井肇　髙橋博　戸田俊　藤沼秀夫　渡邉仁　鈴木守男　木村豊　岸博　金子喜雄　関根さと子　矢部啓子　岸幸子　濱野力

監事

関根文男　杉﨑國昭　折原史年　川鍋優

員外監事

矢作俊信

外職員一同

2023
1
vol.320

CONTENTS

新年のごあいさつ…… 2
表紙の紹介…… 3
特集1　自己改革進捗報告 … 4・5
特集2　第１回准組合員モニター
　　ミーティング開催 … 6・7
カメラニュース…… 8・9
みんなの広場…… 10・11
営農情報…… 12・13
生活情報…… 14・15
店舗統合のお知らせ…… 16・17
お知らせ…… 18・19・20

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目標1【貧困】あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2【飢餓】飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3【保健】あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を保障し、福祉を促進する。
目標4【教育】全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を保障し、生涯学習の機会を促進する。
目標5【ジェンダー】ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び少女のエンパワーメントを行う。
目標6【水・衛生】全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を保障する。
目標7【エネルギー】全ての人々に安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを保障する。
目標8【経済成長と雇用】包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク)を促進する。
目標9【インフラ、産業化、イノベーション】強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10【不平等】各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11【持続可能な都市】包摂的で安全かつ強くしなやか（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12【持続可能な消費と生産】持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13【気候変動】気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14【海洋資源】持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15【陸上資源】陸域生態系を保護、回復、持続可能な利用を推進し、持続的に森林を管理し、砂漠化に対処し、土地の劣化を阻止・逆転させ、生物多様性の損失を阻止する。
目標16【平和】持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17【実施手段】持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

JA南彩が取組んだSDGsの目標Noを表示しています。

ＪＡ南彩自己改革　令和４年度上期の進捗状況について

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		担当部署
	令和４年度	令和４年度上半期の取組み状況	
⑨直売所の集客（リピート）率向上への取組み	●特典付専用カゴの取扱いやタイムセール実施の取組み	●7月末より菖蒲ＧＣにて専用カゴの取扱いを実施 ●岩槻直売所にて毎週月曜日にタイムセールを実施中	直販事業課
・来店客数目標 岩槻農産物直売所　年間122,000人 久喜農産物直売所　年間142,000人 菖蒲グリーンセンター　年間524,000人	・来店客数目標 岩槻農産物直売所　年間120,000人 久喜農産物直売所　年間140,000人 菖蒲グリーンセンター　年間508,000人	・9月末時点の来店客数 岩槻農産物直売所　上期 64,819人（前年比101.0%） 久喜農産物直売所　上期 64,715人（前年比 87.4%） 菖蒲グリーンセンター　上期252,893人（前年比 92.8%）	

●「地域の活性化」への貢献

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		担当部署
	令和４年度	令和４年度上半期の取組み状況	
①准組合員直売所モニター制度の確立	●意見交換会の開催 ●アンケートの実施	●准組合員直売所モニター会議に向けた準備	総合企画課
・モニターを募集して意見交換会やアンケートの実施	・年に２回以上の意見交換会	・令和４年11月１日に准組合員直売所モニター会議の開催日が決まり、それに向けた準備を行っています。モニター17名を選定	
②認知症施策に対するＪＡの支援体制の構築	●認知症サポーター養成講座の開催 ●ミニデイサービスの開催 ●健康教室の開催	●コロナ禍のため自粛	営農支援課
・認知症サポーター養成講座、ミニデイサービス、健康教室の開催（女性部と連携し、３年間で全支部実施）	・各項目を７支部中３支部実施	・コロナ禍のため自粛	
③組合員のデジタル技術向上に向けた支援	●ＪＡスマートフォン教室等の開催	●ＪＡスマートフォン教室等の開催	営農支援課
・ＪＡスマートフォン教室等の開催	・取組件数　１団体	・女性部役員対象（11名）	

●地域密着型サービスの展開

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		担当部署
	令和４年度	令和４年度上半期の取組み状況	
①農業領域への取組み	●農業融資体制の構築・強化 ●貸出強化プランの実践 ●営農経済事業部門と連携し、相談機能の充実 ●農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	●農業融資知識向上として、融資課職員がＴＡＣ会議において、農機ハウスローン研修会の実施 ●農機展示会に参加し、農業融資ブースを設置し相談対応を実施	融　資　課
・農業融資新規実行額 ・農業融資残高 ・農業者向け資産形成・運用セミナーの開催	・農業融資担当者の配置を検討 ・農業融資新規実行額　190百万円 ・農業融資残高　596百万円 ・農業資金担当者育成プログラムへTACを参加 ・生産部会等でセミナー開催	・農業融資実行額　59百万円 ・農業融資残高　435百万円	
②生活資金ニーズへの対応	●住宅ローン提携先との連携強化で住宅ローンの伸長 ●ＪＡネットローンの取組強化 ●貸出業務本店集約化 ●Web広告の実施	●住宅ローン提携先との連携強化向上 ●貸出業務本店集約化は令和６年度以降	融　資　課
・住宅ローン新規実行額 ・Web広告効果	・住宅ローン新規実行額　3,300百万円 ・Web広告はマイカーローン以外を実施	・住宅ローン新規実行額　2,352百万円 ・Web広告はマイカーローン実施で決定	
③資産形成・運用ニーズへの対応	●ＬＰＣを活用した提案活動の実施 ●推奨資格の積極的な取得を促し、人材育成 ●セミナーの開催	●ＬＰＣでライフプランニングの提案活動実施 ●ファイナンシャルプランナー資格試験の積極参加 ●資産運用・形成セミナー開催の決定	金　融　課
・投信契約残高等	・投信残高　1,500百万円 ・つみたてNISA獲得件数　500件 ・iDeCo獲得件数　10件	・投信残高　271百万円 ・つみたてNISA獲得件数　207件 ・iDeCo件数　2件	
④資産相談機能の提供	●専門家を活用した相続相談会・相続セミナーの開催	●開催検討未実施	資金運用課
・相談会実施	・相談会開催の検討に向けた協議	・未実施	
⑤全契約者・組合員に寄り添う活動の実践	●全契約者、組合員への３Ｑ活動の実践	●全契約者、組合員への３Ｑ活動の実践	共　済　課 推　進　課
・ライフプランにあわせた細やかなニーズ喚起と安心・満足の提供	３Ｑ訪問(オンライン面談含む)による近況確認・あんしんチェック、３Ｑコール(電話による近況確認)活動実施率100%	・３Ｑ活動実施率1.9% あんしんチェック2.2%	

特集1

「不断の自己改革によるさらなる進化」

ＪＡ南彩では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の３つの基本目標を実現するために「持続可能な農業・地域共生の未来づくり」をメインテーマとし、全役職員が一体となり「不断の自己改革によるさらなる進化」を実践しているところです。

自己改革の取り組みを着実に実行させるためにアクションプランを策定しましたので、令和４年度上期の進捗状況をご報告させていただきます。

長期ビジョン（経営戦略）

○地域農業戦略の見直し・実践により農業所得の向上につとめます。
○組合員・地域住民のくらしを守るため、総合力を発揮して各種事業活動を通じて総合的な支援を行います。
○総合事業性を発揮するため、JA経営健全性の確立につとめます。

●農業者の所得増大・農業生産の拡大への挑戦

重点施策（主な取組み）	具体的な行動・目標		担当部署
	令和４年度	令和４年度上半期の取組み状況	
①担い手資金支援 ＪＡ南彩独自の助成事業（ＪＡ南彩農業振興支援事業　農業振興目的積立金7,500万円）	●新規就農者支援事業 ●園芸栽培振興支援事業 ●労働力軽減支援事業	●事前申請受付中	営農支援課
・新規就農者支援事業 ・園芸栽培振興支援事業 ・労働力軽減支援事業 （助成金額600万円×3ヵ年=1,800万円）	・助成金総額600万円	・新規就農者支援事業　4件　70万 ・園芸栽培振興支援事業　9件　175万 ・労働力軽減支援事業　6件　5万	
②担い手経営体への労働力確保対策（無料職業紹介事業） ・無料職業紹介所・ＪＡ南彩あぐりサポート・梨栽培サポーター ・ＪＡグループさいたま求人広告サービス「第一産業ネット」 ・援農ボランティアの活用	●求人・求職者募集 ●求人掲載申込募集 ●援農ボランティアの紹介	●求人・求職者募集中 ●求人掲載申込募集中	営農支援課
・ＪＡ南彩あぐりサポート 求人登録36件・求職登録39人	・ＪＡ南彩あぐりサポート 求人登録32件　求職登録35人　採用27人 ・ＪＡグループさいたま求人広告サービス「第一産業ネット」	・ＪＡ南彩あぐりサポート 求人登録34件・求職登録42人・採用７人 ・「第一産業ネット」 求人掲載13件・求職応募42人・採用５人	
③生産者の所得増大に向けた販売強化	●新規作物提案・作付拡大	●新規作物・作付拡大の提案や栽培指導に取組み	営農支援課 生産販売課
・業務用米　92ha ・飼料用米等　350ha ・かぼちゃ栽培　100ａ ・青パパイヤ栽培　1,700本 ・カラフル人参栽培　75ａ ・アスパラガス栽培　50ａ	・業務用米　70ha ・飼料用米等　330ha ・かぼちゃ栽培　90ａ ・青パパイヤ栽培　1,600本 ・カラフル人参栽培　65ａ ・アスパラガス栽培　30ａ	・業務用米　70ha ・飼料用米等　404ha ・かぼちゃ栽培　85a ・青パパイヤ栽培　1,448本 ・カラフル人参栽培　65a ・アスパラガス栽培　36a	
④担い手確保対策（新規就農者支援）	●県農林振興センターや行政と連携して、就農支援パッケージの策定及び支援体制の整備	●就農支援パッケージの策定について担い手サポートセンターと協議中	営農支援課 生産販売課
・新規就農者支援	・新規就農者支援９件	・新規就農者支援５件	
⑤農業経営支援による所得増大の支援	●令和６年度の導入に向けた視察等の実施	●業者との打ち合わせ	営農支援課
・農業経営管理支援事業（青色申告の記帳代行）に取組み	・青色申告の記帳代行導入について研究・検討	・県内ＪＡの状況及びモデル地区の選定	
⑥農業用ドローンによる労働力支援及び生産拡大	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	●農業用ドローンによる麦防除・水稲除草・水稲防除の実施	営農支援課
・農業用ドローンによる組合員の農作業の省力化や生産性の向上を図る	・麦防除　20ha ・水稲除草　20ha ・水稲防除　20ha	・麦防除　30.3ha ・水稲除草　18.4ha ・水稲防除　16.0ha ・その他　5.6ha	
⑦銘柄集約肥料等（高度化成肥料やＰＢ肥料）の取扱拡大によるコスト低減	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	●出向く推進等による銘柄集約の取扱拡大	経　済　課
・ＰＢ　10銘柄　27,600袋の取扱い ・高度化成 4銘柄　21,000袋の取扱い	・ＰＢ　10銘柄　27,200袋の取扱い ・高度化成 4銘柄　20,300袋の取扱い	・ＰＢ　10銘柄　10,712袋 （前年比231.8%） ・高度化成　4銘柄　10,103袋 （前年比207.2%）	
⑧Web受発注システムの導入	●ＪＡ・全農間の受発注機能導入（肥料・農薬）	●7月からＪＡ・全農間の受発注システムを実施	経　済　課
・インターネット注文方式の対応による組合員の利便性向上	・令和５年度の実現を視野に、事前にＪＡ・全農間のシステムを構築	・7/28～本店経済課、春日部営農経済センター ・8/4～他営農経済センター ・現在、取扱いに関し課題等を確認中	

モニターミーティング開催

ＪＡ南彩自己改革

●ＪＡ南彩事業内容説明および准組合員モニターについて

続いて、企画管理部小島副部長よりＪＡ南彩の事業内容の説明や、准組合員モニターにあたっての趣旨について説明がありました。また、ＪＡ南彩ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルの動画も見てもらいました。

准組合員モニターにあたっての説明を行う小島副部長

ＪＡ南彩ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルの動画視聴

●意見交換会

各地区ごとに分かれて、モニターとＪＡ役職員がＪＡ農産物直売所についての意見交換を行いました。

意見交換を行うＪＡ役職員とモニターの方々

意見交換でのご意見・ご要望をご紹介させていただきます。　※一部抜粋

准組合員モニターからのご意見

【施設について】
- ●ＪＡ農産物直売所のスペースが狭い。（岩槻農産物直売所）
- ●トイレを綺麗にして欲しい。（菖蒲グリーンセンター）
- ●店が全体的に暗くて入りづらい。（菖蒲グリーンセンター）
- ●菖蒲グリーンセンターの砂利駐車場をアスファルトで舗装して欲しい。
- ●買い物カートをもっと増やすべき。（菖蒲グリーンセンター）

【サービスについて】
- ●スタッフの愛想がない。（菖蒲グリーンセンター）
- ●年始の福袋など企画してはどうか。
- ●月のイベントカレンダーを作ってみてはどうか。

【売場や品物について】
- ●午前中でないと品物がなくなってしまうので、仕事帰りの主婦が立ち寄れない。（岩槻農産物直売所）
- ●店長作成のＰＯＰ等が素晴らしい。（岩槻農産物直売所）
- ●外のスペースを有効に使えないか。（岩槻農産物直売所）
- ●梨を乾燥させた物等、正規販売が困難なものを販売して欲しい。（菖蒲グリーンセンター）
- ●総菜コーナーをもっと充実させてもよいのでは。（菖蒲グリーンセンター）
- ●ＪＡ農産物直売所は新鮮で安心できる。

今回の意見交換ででましたご意見やご要望は組織全体で共有し、皆さまの声をＪＡの事業計画や運営に生かしてまいります。

特集2

JA南彩 令和４年度 第１回准組合員

ＪＡ南彩は、農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナーである、准組合員の皆さまからご意見・ご要望をお聞きし、皆さまの声をＪＡの事業運営に反映させていきたいと思っています。令和４年度は、農産物直売所に焦点をあて「准組合員直売所モニター」として、11月１日に初めて准組合員の方々とモニターミーティングを開催し、意見交換を行いましたので、その内容をご紹介させていただきます。

●令和４年度准組合員モニター紹介

17名の方にモニターを受けていただきました。当日の出席者は13名でした。

岩槻地区
本田 章子さん
金子 幸子さん
遊馬 健一さん
栗本 聖史さん
関根 秀子さん

宮代地区
鈴木 賀代美さん
笹木 綾子さん
野口 真澄さん
標 光恵さん

久喜地区
青木 藤江さん
松岡 京子さん
酒井 映子さん

菖蒲地区
中根 千恵子さん
山崎 典子さん
金谷 道子さん
野口 あさ子さん
進藤 達雄さん

●菖蒲グリーンセンターの見学

埼玉県内の直売所でも上位の売り上げを誇るＪＡ南彩菖蒲グリーンセンターを見学しました。職員が店内を一緒に回り、菖蒲グリーンセンターの説明をさせていただきました。

ＪＡ職員から直売所の説明を受けるモニターの方々

●菊池組合長あいさつと委嘱状の交付

直売所を見学後、隣の菖蒲南支店で准組合員モニターミーティングを開催しました。菊池組合長のあいさつの後、モニターの皆さんに委嘱状を交付しました。

菊池組合長あいさつ

委嘱状の交付

青果の販売だけじゃない　岩槻直売所「あさつゆの里」

さいたま市立城南小学校二年生のまちたんけん

11月24日、岩槻農産物直売所「あさつゆの里」は、さいたま市立城南小学校二年生の児童の校外学習を受け入れました。

生活科の授業「まちたんけん」の一環で児童がいくつかのグループに分かれて、地域の事業所や店舗を訪ね、仕事や店内を見学する授業を行いました。「あさつゆの里」では小川主任の案内で、直売所内の野菜や果物、米、加工品などを見て回りました。児童からは「岩槻しかとれない野菜はありますか？今の季節は何が美味しいですか？大変なことは何ですか？」などの質問があり、ひとつひとつ丁寧に答えていました。

小川主任は「野菜や果物を実際に目にして、興味を持ってもらい、地元の農産物を好き嫌いなく食べてほしいです」と話しました。

職員の説明をメモする児童たち

さいたま市立柏陽中学校二年生の職場体験

11月９日と10日、岩槻農産物直売所「あさつゆの里」は、さいたま市立柏陽中学校二年生の生徒二人の職場体験を受け入れました。

さいたま市は、「未来(みら)くるワーク体験」として職業や働くことへの関心を高め、職業についての理解を深めると共に将来の「生き方」について考えることを目的とした中学生職場体験事業を行っています。例年JA南彩も受け入れており、職場体験では農産物の陳列や撤去作業、バーコードのラベル貼りなどを行い、小川主任からは農産物の紹介や旬の意味、農産物直売所とスーパーの違い、SDGsの意義とＪＡの役割についてなどの座学が行われました。

生徒たちは「一つ一つの作業に意味があるということを知り、良い経験ができました。傷んだ商品の選別作業が難しかったです」と話していました。

職員から作業の説明を受ける中学生たち

楽しい思い出をくれた人形たちへ感謝をこめた供養祭

ご供養させていただきました

11月27日、久喜市菖蒲町にある斎場JAアグリホールくきにて、ＪＡ全農さいたま主催の「人形・ぬいぐるみ供養祭」が行われました。今回はアグリ倶楽部会員限定で当日午前中のみの受付にも関わらず約750体の人形・ぬいぐるみが持ち込まれ、久喜市菖蒲町「南蔵院」住職の読経のもと供養されました。

利用者は「思い出の詰まった人形を供養する機会がなく困っていました。供養してもらえることに感謝しています。今後も定期的に開催してもらえるとありがたいです」と話していました。

ＪＡが地域貢献に役立つために来年度以降も開催を予定しております。ぜひご利用ください。

縁起のよい「くわい」でゲン担ぎ！

12月９日、岩槻地区の岩槻くわい共販組合で、生産者３名、全農さいたま職員２名、ＪＡ南彩役職員４名が参加し、くわいの初出荷が行われました。

今年は10月初旬の気温低下に伴う水温の低下による収量低下が懸念されていましたが、生産者の努力の甲斐もあり、例年より小玉傾向ではあるものの、順調な生育で高品質な仕上がりとなりました。

生産者は、「今年は生育状況が心配でしたが、品質の良いくわいが出荷できました。岩槻地区では独自に残留農薬の調査をしており、品質にも大変こだわっています。年末のおせち料理などで岩槻のおいしいくわいを食べてもらいたいです」と話していました。

くわいの品質を確認する参加者

お詫びと訂正　12月号３ページ カメラニュース「南彩の未来をつなぐ仲間たち」記事中の出席人数に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。　誤「６名」　**正「７名」**

ＪＡ南彩ふれあい感謝祭３年ぶりに開催!!

ＪＡ南彩ふれあい感謝祭を、12月10日に蓮田市総合文化会館「ハストピア」駐車場にて開催いたしました。新型コロナウイルスの影響で、３年ぶりの開催となりましたが天候にも恵まれ大盛況でした。当日は、ＪＡ組合員・地域利用者皆さまへの日頃の感謝を込めて、ＪＡ南彩女性部や青年部の協力もいただき合計22の販売ブース及びアンパンマン「ふわふわ」や大道芸、500円のお買い上げごとにクジができる大抽選会も行いました。

ご来場いただいた皆さま、大変ありがとうございました。

ＪＡ女性部では、赤飯、手づくり味噌、こんにゃくや野菜の販売を行いました。

ＪＡ青年部では、焼き芋、焼き栗、もつ煮、お米や野菜の販売を行いました。

農業祭・産業祭が開催されました Part2

第47回春日部市農業祭　11月23日

秋の収穫を祝うイベントが各地区で開催され、多くの来場者で賑わいました。

生産者が丹精込めて作った野菜や果物、花卉などの販売が行われたほか、様々な模擬店も出店し、イベントは大盛況となりました。

なんさい小町活動報告

「県民の日」県庁オープンデー

11月14日、埼玉県庁で、３年ぶりに開催された「県民の日」県庁オープンデーに出店しました。

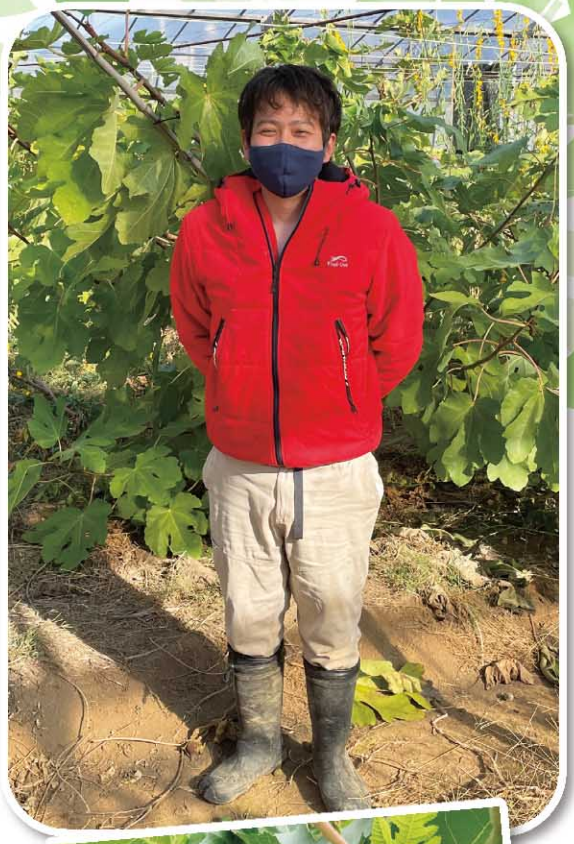
秋晴れの中、地場産の新鮮な農産物を買い求める来場者で賑わいました。用意した青果物（青パパイヤ、小松菜、山東な、ルッコラ、サラダほうれん草）は完売し、多くの来場者にＰＲすることができました。

青パパイヤ、新米ＰＲ

11月26日、菖蒲グリーンセンターで、青パパイヤ、新米のＰＲを行いました。

店頭で声掛けやチラシ等の配布、また青パパイヤを購入された方に対してアンケートを行いました。

彩農あり！



渥美（あつみ）　正吉（まさよし）さん（久喜市吉羽）

JA南彩　青年部

久喜市とさいたま市でイチジクを栽培する渥美さんは、農家の出身ではなくサラリーマンからの新規就農者です。そんな渥美さんが農業を始めるきっかけとなったのが新型コロナウイルスによる生活環境の変化でした。

『在宅勤務が増えたことで「本当はどんな風に生活をしていきたいのか」自分の率直な気持ちに向き合う時間が自然と増えました。農業に関心をもち、調べていく過程で「自身が大切にしたいこと」を実現できる可能性が農業にはあるように思えたことがきっかけでした』と話します。今では農業を通して大切な人たちに出会え、時には支えていただき、感謝しながら充実した毎日を過ごせているそうです。

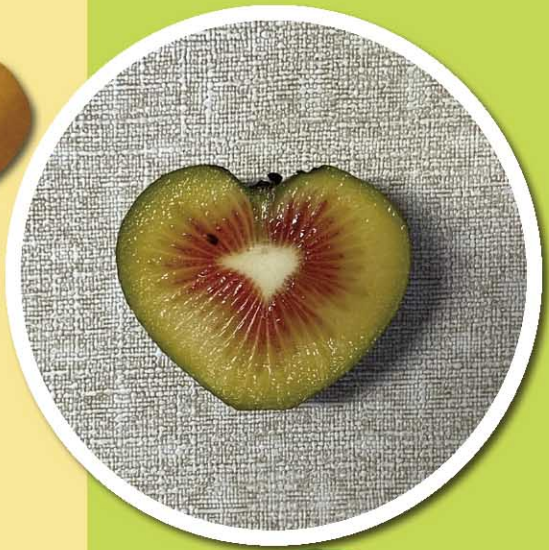
技術の習得のため、毎月愛知県のイチジク勉強会に参加している渥美さん。愛知県はイチジク生産量日本一の県です。勉強会への参加はもうすぐ２年になるといいます。『必要と思えば全国各地の圃場へおもむき、論文や書籍からの勉強も欠かせません。まだ十分なものができているとは言えませんが、地元埼玉の人に、本当に美味しいと思っていただけるイチジクをお届けしたいです！』と力強く話してくださいました。

渥美さんの栽培したイチジクを手に取ることができる日を楽しみにしています。

（穀山通信員）

農産物

大塚（おおつか）　房男（ふさお）さん



春日部市の大塚さんのお宅で栽培しているキウイフルーツです。

切り口がハート型のかわいらしい形のものがありました。品種は「紅妃」という果肉が赤い品種です。

（春日部市内牧）

今月の直売所情報

みんな

岩槻農産物直売所 あさつゆの里

住所 さいたま市岩槻区城南4-1-40　電話 048-798-8311

「あさつゆの里」では冬にかけて岩槻特産のクワイが旬を迎えます。煮物や素揚げ等様々な調理法があり、おすすめの農作物になります。

インスタグラムでも情報を配信しています。
是非フォローしてください。@Janansai_ic

久喜農産物直売所 久喜キラリ直売館

住所 久喜市本町3-16-40　電話 0480-25-1183

「久喜キラリ直売館」では、いちごが旬を迎えとても人気の農作物です。ぜひ皆さまも１度お買い上げください。

菖蒲グリーンセンター

住所 久喜市菖蒲町小林227　電話 0480-85-4444

菖蒲グリーンセンターでは、特産のいちごを11月中旬から５月下旬まで販売しています。菖蒲町はいちごの生産量が県内有数を誇る産地です。１月上旬からは、いちご狩りも楽しめますので、ご家族やお友達とお出かけください。

SNSで情報発信中

『JA南彩直売所ブログ』コーナーでは、特売情報やお得なイベント、旬な採れたて野菜の入荷情報などを各直売所がタイムリーにお届けしています。

この情報は、Twitterにも同時に発信していますので、SNSでオトクな情報を受け取ることが出来ます。

是非フォローしてください。
Follow @janan_gc

おもしろ

山崎（やまざき）　博士（ひろし）さん

白岡市の山崎さんの畑で「ツノゴマ」が採れました。

数年前に知人から種をいただき、蒔いてみたら、白色から淡いピンク色の花、弁に黄色の縦縞模様の可愛い花が咲きました。果実が熟すと果皮が剥がれ、二本爪が出て成長します。

別名「悪魔の爪」とも呼ばれ、魔除けとしての効果もあるようです。　（白岡市柴山）

メイト系農薬、合成ピレスロイド系農薬、ネオニコチノイド系農薬の多くが挙げられます。
また、ジアミド系殺虫剤には神経や筋組織などの興奮性細胞内に結合し（昆虫リアノジン受容体）筋収縮を引き起こす殺虫活性があります。

② 呼吸作用系（エネルギー代謝系）：虫は呼吸で酸素をミトコンドリアでエネルギーに換えます。呼吸系に作用する農薬はエネルギー合成過程を阻害します（呼吸阻害）。このグループに多くの殺ダニ剤があります。

③ 発育作用（成長）：チョウ目害虫やカイガラムシ類の幼虫などは発育と共に数度の脱皮をします。脱皮の際の新しい皮膚の生成を阻害するものと正常な脱皮を阻害するものとがあります。
前者では例えばノーモルト乳剤やアプロード水和剤、後者ではファルコンフロアブル、ロムダンフロアブルが挙げられます。

④ 昆虫中腸内膜作用系：ＢＴ剤です。有効成分は微生物（バチルス菌）が産生する、またはそれ由来の殺虫タンパク質生産物です。チョウ目などに特異的に効果があり、接触された毒性タンパク質が中腸上皮を破壊し、接触活動は数時間で停止し、数日中に虫は死に至ります。

殺菌剤の系統も非常に多くなっていますが、代表的な３つご紹介致します。

① 銅殺菌剤は植物の表面を覆い外部からの病菌の侵入を防止する保護殺菌剤です（予防効果）。葉面上で有効成分が銅イオン（Cu^{+2}）を放出して病原菌内で各種タンパク質のもとになる酵素系に作用して殺菌効果を表します。多くの酵素を阻害するので多作用点接触活性化合物と呼ばれ、そのため耐性菌発達リスクはとても低く残効性は長めです。細菌に対しても高い効果を示し、有機銅のキノンドーや無機銅のコサイドやボルドーなどが挙げられます。

② ステロール生合成阻害剤（ＳＢＩ）は予防効果と治療効果を併せ持ちます。植物体内に速やかに浸透するので耐雨性も認められ低薬量でも作用を示します。オンリーワンやスコア、トリフミンが挙げられます。これらグループは作用点が一つ（単作用点殺菌剤）が特徴で、効果は鋭いですが耐性菌発達リスクがやや高いため、連用は避けて他系統殺菌剤との輪番散布（体系散布）が必要です。

③ 呼吸系殺菌剤にはＳＤＨＩ系とストロビルリン系（Ｑｏｉ剤）があります。これらは病原菌のミトコンドリア電子伝達系に作用し呼吸を阻害します。抗菌範囲が広く予防効果と治療効果を併せ持っているのも特徴です。前者はアフェットやパレード20など、後者ではアミスターやストロビーが挙げられます。これらも単作用点殺菌剤の一つです。
耐性菌発達リスクは高いとされていますので、連用は避けて他系統殺菌剤との輪番散布（体系散布）が必要です。

【イラストはJCPA日本農薬工業会パンフレット引用】

最後に！

紹介した２つのポイントをしっかり確認して、耕種的（農薬に頼らない防除等）を組み合わせて、最大限の効果が得られるように防除を行いましょう。

今回はいくつかの殺虫剤（および殺ダニ剤）と殺菌剤の効果的な防除の仕方（輪番散布）と系統別の特性をご紹介致します。

皆さまがご存じのとおり農薬には多く品目があります。使用時にはどの農薬を使えばより効果が得られ、迷わないためのポイントを紹介します。

ポイント①ラック（RAC）コードの確認

すべての有効成分は１）作用機構（病害虫に対する一次作用）、２）作用点および３）化学グループ名の組み合わせで系統化されています。その系統は世界基準である「ＲＡＣコード」で示されています。現在わかっている作用機構だけでも多岐にわたることから、殺虫剤は「ＩＲＡＣコード○△」、殺菌剤では「ＦＲＡＣコード○△」と表記されます。

ここ近年、しっかり散布しているのに「虫が残る」や「病気が止まらない」といった効かなくなったお話を伺います。今まで効いていたけど防除効果が低下した・・・その原因の一つとして対象病害虫の感受性低下（薬剤抵抗性の獲得）が考えられます。これは同じ薬剤の連用散布または異なる薬剤名であっても実はＲＡＣコードが同じ薬剤が連用されることで、効いていた病害虫が淘汰されて効きにくいものに置換わる、または感受性に関与する遺伝子の突然変異によって薬剤が全く作用しなくなる自然現象です（淘汰と突然変異）。ですから防除場面では、効果のある薬剤を一年でも長く使い続けるための薬剤抵抗性管理が非常に大切になってきます。散布前に薬剤がどのＲＡＣコードになっているか確認したうえで同系統薬剤の連用は避け、系統が異なる薬剤との輪番散布をお薦めいたします。

ポイント②系統別の特徴や作用の確認

殺虫剤は大まかに４つに分けられます。

① 神経および筋肉作用系：虫の生きるための情報は神経を介して体の末端まで伝達されます。その途中過程で作用（麻痺、遮断等）し、害虫を駆除します。例えばですが有機リン系農薬、カーバ

TAC通信

毎月、TAC（担い手支援担当）の取組み状況などをご報告いたします。

営農経済部営農支援課　中部エリア宮代地区担当の岡安です。

現在、長期化するロシアのウクライナ侵攻や、中国の輸出制限一層厳格化などの影響による原材料価格高騰、さらに円安の進行により、農業資材全般は昨年来、大幅な値上げとなっております。そこで化学肥料の代わりに注目されている家畜糞堆肥についてご紹介いたします。

現在ＪＡ南彩では、鶏糞・豚糞・牛糞堆肥等を扱っており、①鶏糞②豚糞③牛糞の順に含有する肥料分が多くなっております。また家畜糞堆肥は含有肥料分がすべて効果を示す訳ではありません。肥効率は以下の通りです。（肥効率とは化学肥料と同等な肥効を示す有効成分の比率をいいます）

	窒素	リン酸	加里
牛糞堆肥	20%	60%	90%
豚糞堆肥	40%	60%	90%
鶏糞堆肥	50%	70%	90%

※埼玉県ＨＰ　施肥改善指導マニュアル 4 優良堆肥の使用 表22堆肥の肥効率より

ＪＡで取扱いしている家畜糞堆肥の一部

家畜糞堆肥を施用する際の注意点としましては、①豚糞・鶏糞は栄養成分が多いこと②リン酸・加里は肥効率も高く、過剰投与になりやすいこと③窒素は利用されない分が持ち越され、年々蓄積することなどがあげられます。

特に水稲を作付けする圃場に家畜糞堆肥を利用するときは品種や土壌条件に応じて施用量に細心の注意が必要となりますので、目安などは各担当地区のTAC（営農渉外）へご相談お願いいたします。

（※湿田では生育障害発生の恐れがあるため施用はおすすめしません）

今後も皆さまのお役に立てるような情報提供が出来るように、努力して参ります。

「農地を使わせて欲しい」という業者にご注意ください！

業者等から農地以外の用途として農地を使わせて欲しいと頼まれ、了承した後に大量の土砂を堆積されてしまうという事例が発生しています。

狙われるのはこんな農地！

- ☑ 長年使われていない農地
- ☑ 草が生い茂り、手入れがされていない農地
- ☑ すでに土砂が積まれ山になっている農地

被害にあわないために自衛が重要！

○契約書等に簡単に署名せず、はっきり断ることが大事です。

○「耕作していない農地だから大丈夫」と簡単に考えてしまうと、後々取り返しのつかないことになってしまいます。

不審に思った方は、地元の農業委員又はさいたま市農業委員会事務局（☎048-829-1903）までご相談ください。

いちご狩り

新型コロナ感染防止を考慮した、いちご狩りを実施させていただきます。また内容は予告なく変更することがございます。

期間 1月6日㈮～5月中旬

入園時間 平日・土日祝 9：30～15：00

料金

菖蒲グリーンセンター	1月6日～4月9日まで	4月10日～5月7日まで	5月8日～閉園まで
一般（小学生～大人）	2,300円	1,800円	1,000円
幼児（3歳～未就学）	1,600円	1,200円	600円
2歳以下は無料			
いちご農家	1月6日～4月9日まで	4月10日～5月7日まで	5月8日～閉園まで
一般（小学生～大人）	1,800円	1,500円	1,000円
幼児（3歳～未就学）	1,200円	1,000円	600円
2歳以下は無料			

※今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更・中止となる場合がありますので、予めご了承願います。
※苺の生育状況および天候不順により入場をお断りする場合がございます。

※予約受付は水耕園のみとさせていただきます。予約受付は前日のみとさせていただきます。またご予約いただきましても成育状況等により食べられない品種があることもございます。
※選択可能な日は当店隣接の水耕園か、マイクロバスで行く農家さんのどちらかご希望をお申し付けください（土日祝日等の混雑時、隣接の水耕園は前日予約を頂いた方のみとなります）。詳しくは来園前に電話等で状況確認ください。
※マイクロバスで行く農家さんへのいちご狩りは予約不可とさせていただきます。このため混雑状況等により乗車待ち時間が発生する場合があります。またマイクロバス運行のない日も多々あります（特に平日）。
※発熱等、体調不良のある方のご来園はご遠慮ください。入園前、もしくは乗車前の検温で37.5度以上のお熱が確認されますとお熱のある方含むグループ皆さま、キャンセル（返金払い戻し）させていただきます。

ご来園頂くお客さまとスタッフ全員の安全と安心のために何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

菖蒲グリーンセンター
電話 0480-85-4444　AM9：00～PM5：00

JAグループさいたま アグリマシンフェア

第61回 農業機械大展示会

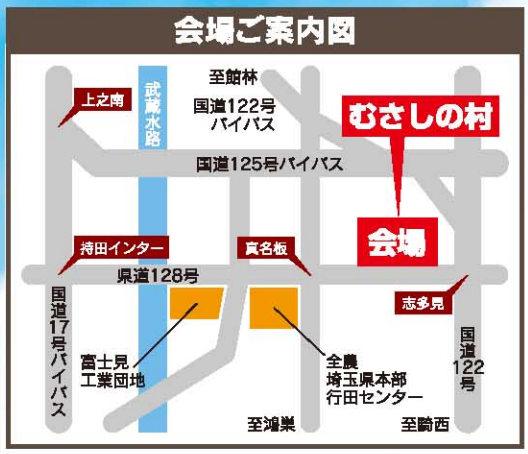
日時 2023 1／28㈯・29㈰ 9：00-15：00

会場 むさしの村 特設会場

出展内容
- 水田、畑作、園芸用各種農業機械
- 中古農業機械コーナー

主催／埼玉県内JA・埼玉県JA農機協議会・全国農業協同組合連合会埼玉県本部
協賛／全農埼玉県本部取扱メーカー各社・埼玉県農業協同組合中央会
埼玉県信用農業協同組合連合会・全国共済農業協同組合連合会 埼玉県本部
埼玉県農業共済組合

会場ご案内図



住所／埼玉県加須市志多見1700-1
TEL ／ 0480-61-4126㈹

ご来場いただく方にコロナウイルス感染防止策のお願い
- ●マスク着用でのご来場をお願い致します。●こまめな手洗いをお願い致します。
- ●受付での消毒にご協力をお願い致します。●会場内は禁煙とさせていただきます。
- ●人との距離をあけるなどの予防対策をお願い致します。
- ●検温にご協力ください。発熱の症状がある方のご来場はご遠慮ください。
- ●飲食の提供はしておりません。また会場内での食事はご遠慮ください。

※新型コロナウイルス感染状況によっては開催中止の場合もございます。

お問い合わせ JA南彩 農機センター ☎048-766-3187

店舗統合に伴うQ&A

Q1 統合後の支店はどうなりますか？

農林水産省からの監督指針では、「組合の保有する不稼働又は業務外の資産（遊休資産）については早急に売却等処分を行うことが原則」とされていますが、農協の施設として、より良い活用方法があればご意見をいただければと思います。

Q2 支店のATMは残してくれますか？

廃止店舗のATMは原則営業終了の方針ですので、将来的には営業終了となります。廃止時期はATMの稼働状況等により判断させていただきます。

また、現在提携しております金融機関やコンビニエンスストアのATMでは、ご利用いただくこともできます。

Q3 通帳はそのまま使えますか？

統合後は使用できなくなりますので、継承支店窓口までお申し出ください。新通帳に切り替えさせていただきます。なお、ATMでは引き続きご利用いただけます。

Q4 キャッシュカードは使えますか？

引き続きご利用いただけます。

Q5 年金の受取りや給与の受取りはどうなりますか？

引き続きご利用いただけます。ただし、一部の方は変更手続きが必要となりますので、後日手続きが必要になる方には個別にご案内させていただきます。

Q6 出資金はどうなりますか？

特に変更はございません。各継承支店へ引継がれます。

Q7 渉外体制の対応はどうなりますか？

組合員や利用者との対話・接点を重視し、渉外や外務体制を強化して今まで以上のサービスを提供してまいります。

ATM営業終了のお知らせ

組合員・利用者皆さまには長年のご愛顧に感謝申し上げますとともに、大変ご不便をおかけいたしますが、最寄りのＡＴＭのご利用をお願いいたします。

ご理解とご協力をたまわりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

廃止日　令和５年２月17日㈮
15:00まで

- 旧豊春支店ATM（現ローンセンター）
- 旧豊野支店ATM
- 旧黒浜支店ATM（現中部営農経済センター）

廃止日　令和５年３月10日㈮
15:00まで

- 慈恩寺支店ATM　河合支店ATM
  岩槻城北支店に移転
- 旧東岩槻支店ATM
- 寺田支店ATM

店舗統合のお知らせ

平素、当組合事業につきましては、格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび下記のとおり店舗を統合させていただくこととなりました。ご不便をおかけすることと存じますが、これまで以上に組合員、利用者の皆さまの信頼にお応えし、より一層サービスの向上に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

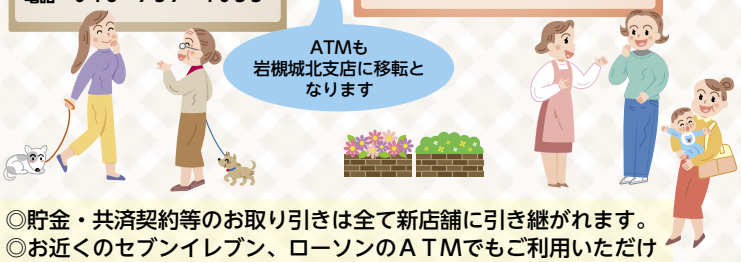
現在		継承支店
令和5年2月17日(金)窓口午後3時まで **川通支店** 住所　さいたま市岩槻区大口255 電話　048－799－1063	統合	令和5年2月20日(月)から **岩槻城南支店** 住所　さいたま市岩槻区城南4-1-39 電話　048－798－3345

現在		継承支店
令和5年2月17日(金)窓口午後3時まで **春日部東支店** 住所　春日部市八丁目330-1 電話　048－752－2234	統合	令和5年2月20日(月)から **春日部支店** 住所　春日部市南2-5-37 電話　048－736－5501

現在		継承支店
令和5年2月24日(金)窓口午後3時まで **菖蒲支店** 住所　久喜市菖蒲町菖蒲902-1 電話　0480－85－0040 **寺田支店** 住所　久喜市菖蒲町三箇2249 電話　0480－85－3535	統合	令和5年2月27日(月)から **菖蒲南支店** 住所　久喜市菖蒲町小林238 電話　0480－85－1022

現在		新店舗名称
令和5年3月10日(金)窓口午後3時まで **慈恩寺支店** 住所　さいたま市岩槻区慈恩寺256-8 電話　048－794－1146 **河合支店** 住所　さいたま市岩槻区平林寺423-5 電話　048－757－4033	統合	令和5年3月13日(月)から **岩槻城北支店** (新名称) 住所　さいたま市岩槻区大字表慈恩寺1522番 電話　048－794－1146

現在		継承支店
令和5年3月24日(金)窓口午後3時まで **太田支店** 住所　久喜市吉羽2-15-18 電話　0480－21－0354	統合	令和5年3月27日(月)から **久喜江面支店** 住所　久喜市北青柳73 電話　0480－21－1101



◎貯金・共済契約等のお取り引きは全て新店舗に引き継がれます。
◎お近くのセブンイレブン、ローソンのＡＴＭでもご利用いただけます。(キャッシュカード使用で、入出金のみ)
◎お近くのファミリーマート、スリーエフの一部店舗を除くＡＴＭでもご利用いただけます。(キャッシュカード使用で､入出金のみ)

JAのキャッシュカードは コンビニエンスストアのATMが利用出来ます。

セブン銀行・イーネット・ローソン銀行のATM利用時の手数料（入出金取引）

利用時間帯	手数料(消費税込)
平　日　8：45～18：00	110円
土曜日　9：00～14：00	110円
平日、土曜日のその他の時間帯および日曜日、祝日	220円

※利用時間帯は、平日、土曜日、日曜日、祝日ともに8：00～21：00となります。
※JAバンクのATMにつきましては、引き続き無料でご利用いただけます。
※お客様のお取引内容に応じて、コンビニATM利用手数料が毎月１回または毎月３回まで無料となる「JAバンク埼玉優遇プログラム」がございます。詳しくは、当組合窓口までお問い合わせください。

「JAバンク埼玉優遇プログラム」の詳細

相談会のご案内

JAでは相談会を開催しています。お気軽にご利用ください。

営農相談会　9:30～12:00

岩　槻	春日部	蓮　田	宮　代	白　岡	久　喜	菖　蒲
１月11日㈬	１月13日㈮	１月６日㈮ １月18日㈬ １月24日㈫	１月25日㈬	１月27日㈮	１月20日㈮ 久喜営農 経済センター 0480 (25) 1515	１月18日㈬ 菖蒲営農 経済センター 資材館 0480 (85) 7334
２月２日㈭	２月８日㈬	２月６日㈪ ２月16日㈭ ２月24日㈮	２月28日㈫	２月27日㈪	２月21日㈫	
岩槻営農 経済センター 048 (798) 0072	春日部営農 経済センター 048 (736) 5506	中部営農 経済センター 048 (768) 5556	宮代支店 0480 (32) 0102	白岡大山支店 0480 (92) 2315	北部営農経済センター 0480 (85) 7334	

税務相談会

１月11日㈬ ２月10日㈮ 岩槻城南支店 9:30～12:00 048 (798) 3345	――― ２月14日㈫ 春日部支店 10:00～15:00 048 (736) 5501	１月19日㈭ ２月21日㈫ 蓮田支店 9:30～12:00 048 (768) 2190	１月11日㈬ ２月９日㈭ 宮代支店 9:30～12:00 0480 (32) 0102	１月11日㈬ ２月９日㈭ 白岡大山支店 13:30～15:30 0480 (92) 2315	１月25日㈬ ２月21日㈫ 久喜江面支店 9:30～12:00 0480 (21) 1101	１月25日㈬ ２月21日㈫ 菖蒲支店 13:30～15:30 0480 (85) 0040

※個別の税務相談会は事前予約制となっておりますので、それぞれの開催日**１週間前**までにお電話でのご予約をお願いいたします。（ご予約いただけない場合は受付できません）ご予約がない場合は開催中止となりますのでご注意ください。
※都合により時間が変更になる場合があります。ご了承ください。

南彩インフォメーション information

JA南彩

「川柳コンテスト」作品募集のお知らせ!!

ＪＡ南彩では、「川柳コンテスト」を開催いたします。入賞されますとクオカードやお米がもらえます。是非、お気軽に下記募集要領をご確認の上、ご応募ください。

「川柳募集要領」【農業に関する川柳募集】主催者：ＪＡ南彩

募集方法

当組合ホームページにて募集するものとする。
ハガキ、ファックス、ホームページから応募する。
（作品は未発表に限る）
①住所　②氏名（ふりがな）
③年齢　④電話番号　⑤作品
⑥作品についてのコメント

対象者

ＪＡ南彩の管内に居住する方。

募集題材（テーマ）

「農業」または「ＪＡ」をイメージしたもので５－７－５の川柳とする。

募集期間

令和４年10月１日㈯から令和５年２月28日㈫まで（必着）

応募先

〒344-0064　春日部市南二丁目4番30号
南彩農業協同組合 総合企画課　広報担当　行
ＴＥＬ　048-720-8050
ＦＡＸ　048-720-8052
E-mail　nansai7331@nansai.st-ja.or.jp

賞

	5			6				
		1						3
□					7	8		
7	4				2			
6								5
			1				3	2
		5	3					□
1						4		
				9			6	

数独 NumberPlace

出題　ニコリ

二重枠に入った数字の合計はいくつ？

ルール

① 空いているマスに、１から９までの数字のどれかを入れます。

② タテ列（９列）、ヨコ列（９列）、太線で囲まれた３×３のブロック（それぞれ９マスあるブロックが９つ）のいずれにも１から９までの数字が１つずつ入ります。

応募方法

正解者の中から抽選で10名様に図書カードをプレゼント。

【締切日】１月末日　発表は３月号です。

11月号の答え

答え　7

当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

袋にはいるといいことがあるにゃ～ん♥

4	6	1	9	2	8	7	3	5
3	⑤	8	6	7	1	2	4	9
7	9	2	5	3	4	8	1	6
1	2	5	4	8	9	3	6	7
8	7	3	2	1	6	9	5	4
9	4	6	7	5	3	1	8	2
2	3	4	1	6	7	5	9	8
6	1	7	8	9	5	4	2	3
5	8	9	3	4	②	6	7	1

11月号応募総数59通

63 〒344-0064
春日部市南二丁目4番30号
JA南彩
広報係

●●答
●郵便番号・住所・氏名・年齢
●JA南彩と本誌へのご意見・ご希望・短歌・イラストなど

※応募ハガキに基づく個人情報は抽選、景品の発送、意見等の掲載に使用させて頂きます。あらかじめご了承下さい。
※おひとり様１枚までのご応募とさせて頂きます。

【理事会だより】

令和４年11月28日、定例理事会が行われ、次の事項について審議され、全議案原案通り可決・承認されました。

(1) 令和４年10月末財務状況について
(2) 令和４年度上期監事監査の指摘事項に対する改善状況について
(3) 令和４年度上半期ディスクロージャー誌の発行について
(4) 令和４年度ＡＴＭの再編について（総務委員会・金融共済委員会報告）
(5) 役員候補者推薦・選任内規の一部変更について
(6) 岩槻城北支店の什器備品購入について
(7) 久喜江面支店の什器備品購入について
(8) 年末賞与の支給について

主要事業の概要

令和4年11月末現在

出資金につきましては、29億1,377万円です。

	令和４年11月末	令和４年３月末	前年度末増減
正組合員数	9,370人	9,376人	△ 6人
准組合員数	19,533人	19,261人	272人
組合員数合計	28,903人	28,637人	266人

	令和４年11月末	令和３年11月末	前年度同月対比
貯金高	2,824億2,884万円	2,841億3,223万円	99.4%
貸出金※	659億1,622万円	634億8,386万円	103.8%
共済保有高	6,076億0,371万円	6,142億3,182万円	98.9%
販売高	17億8,908万円	18億7,925万円	95.2%
購買品Ⅰ供給高	15億0,927万円	14億9,768万円	100.7%
購買品Ⅱ供給高（各直売所）	7億8,447万円	8億3,159万円	94.3%

※ 貸出金については、貸付留保金を控除しています。

編集後記

今年もよろしくお願いいたします。
皆さまは、どんな新年をお迎えですか？どんな初夢を見ましたか？
１月号を作成しているのは、ふれあい感謝祭を無事に終えた12月のクリスマス前です。お正月の実感はありませんが、最近の福袋は年末から売り出す企業も多く、スタバの福袋は今回も逃してしまいました。欲しい物は割と福袋で購入し楽しんでいます。

編集担当　N

会員様限定!

年金友の会

JA南彩

謝恩抽選会

©よりぞう

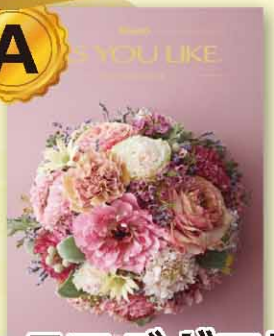
©よりぞう

総計700名様に素敵な賞品をプレゼント!!

応募期間 令和5年 1月4日(水)～2月17日(金)

選べるギフト

A カタログギフト



B JA南彩 オリジナルカレーセット

C 全国共通お食事券

※ABCいずれも3,000円分相当の賞品となります。都合により変更となる場合がございます。
※写真はイメージです

応募資格：JA南彩にて年金受給口座を指定していただいている方
応募要領：専用のお申込みハガキをJA南彩各支店窓口までご持参いただくか、日頃訪問させていただいております職員にお渡しください。いずれも難しい場合はお電話（年金受給口座支店）での受付も可能でございます。
そ の 他：厳正なる抽選のうえ、当選者の決定をいたします。尚、当選者の発表は賞品のお届けまたは申込み支店窓口でのお渡し（ご連絡）をもって代えさせていただきます。（令和5年3月上旬以降）
※当選の権利を他人に譲渡したり、金品に交換することはできません。また、ご応募いただいたお客様情報は、JA事業および各種サービスの提供・ご案内・充実等の目的以外には利用いたしません。また、JA南彩は「個人情報保護法」を定め、個人情報の保護に努めております。
※会員様にはお申込みハガキを郵送させていただいております。
※詳細につきましてはJA南彩各支店窓口までお問合せください。

お知らせ

番号案内サービス（104）へお問い合わせの際は、
必ずJA南彩の葬儀とおたずねください。（24時間・365日対応）
事前相談も行っています。お問い合わせください。

こちらから事前相談も可能です。

南彩農業協同組合 JA葬祭総合センター 0120-145-731

なんさい No. 320
令和5年1月1日発行

発行責任者／南彩農業協同組合
代表理事組合長 菊池義雄
編 集／企画管理部総合企画課 〒344-0064
埼玉県春日部市南二丁目4番30号
TEL 048（720）8051 FAX 048（720）8052

VEGETABLE OIL INK
R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています